

残暑の候、皆様におかれましては  
益々のご健勝のこととお慶び申し  
上げます。

とても暑い日が続いておりますが  
お体ご自愛下さい。



代表取締役 寺阪 剛  
Takeshi Terasaka

この度、7月27日付けで島根県鹿  
足郡吉賀町に「よしかファーム株  
式会社」を設立しました。アイメッ  
ク農法という特殊な農法を導入  
し、高糖度ミニトマト(品種:フルテ  
ィカ)の栽培を行います。鉄骨ハウ

ス建設はこれから行いますので、来年の3月頃から定植を開始し、  
6月には初出荷というスケジュールとなっております。販売先として  
は首都圏ならびに関西圏の高級スーパーへの直売を中心に、シン  
ガポール、中国などアジアへの販売を計画しております。

アイメック農法はフィルム農法とも言われ、早稲田大学とメビオール  
株式会社が共同開発した全く新しい農法であり特許も取得しており  
ます。アイメック農法の特長として、高糖度かつ高栄養価のトマト栽  
培が可能です。

この特徴を活かし、糖度8以上を品質保証とし、糖度別梱包をする  
事で差別化を図って販売していくつもりです。

また「よしかファーム株式会社」は農業の6次産業化にもチャレンジ  
していきます。

糖度8以下のトマトに関しては、水素処理→低温加熱→粉末加工で  
パウダーとして、カプセル状にして販売する計画です。トマトを1日  
400g食べると殆ど成人病にならないというデータがあります。毎日  
トマトを400g食べる事は現実味がありませんが、400gのトマトも  
パウダー状にすればたった15g(カプセル状で6粒ほど)です。しか  
も栄養価はそのままですので、これなら毎日トマト400gの栄養素  
を摂取する事は可能です。

当社の健康グッズ販売と合わせて、高糖度ミニトマトやトマトカプセル  
を販売する事で皆様方はじめ多くの方々の健康予防、健康増強  
に貢献し、日本社会の医療費削減に貢献していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひ致します。



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA  
RUBBER  
NEWS  
LETTER

共和ゴムニュースレター 第8号  
2016年8月発行

ニュースレターのバックナンバーは  
弊社ホームページでご覧いただけます。

### 共和ゴム株式会社

#### 本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3  
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

#### 東日本営業所 新事務所 2016年5月に移転しました

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3 和孝江戸橋ビル4F  
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6740-2115 (電話・Fax番号は変更ありません)

# KYOWA RUBBER NEWS LETTER



2016  
Vol. 08

# Sales Department

## 「無電柱化推進展2016」に出展しました!

新着情報

## NEWS

### 01 「よしかファーム株式会社」を設立

7月27日「よしかファーム株式会社」を島根県鹿足郡吉賀町に設立。  
代表取締役:寺阪剛  
資本金 :3500万円  
高糖度トマトの生産ならびに販売、健康食品の企画・販売などが事業内容となります。



### 02 プロッター加工機 導入

今月、第三工場にプロッター加工機を導入します!  
ゴム板、スポンジの加工を迅速に小ロットのできる体制を整えます。詳細につきましては弊社営業担当者まで気軽にお問い合わせ下さい。(加工サイズ: 900x1200mm)



西日本営業部  
林 充男

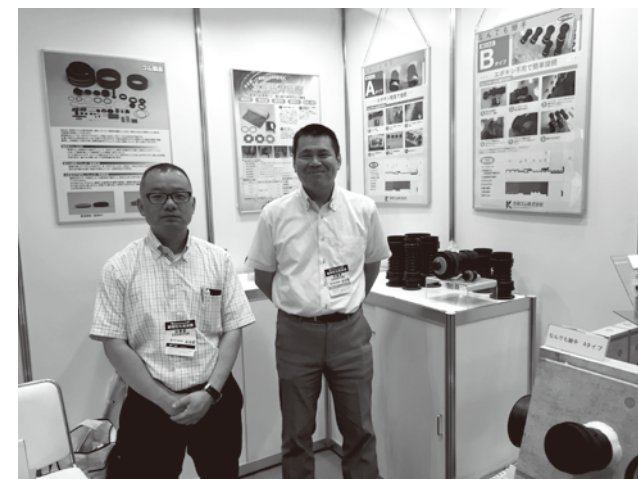
こんにちは! 西日本営業の林です。  
いつもお世話になっております。

去る7月20日~22日に東京ビックサイトで開催された「無電柱化推進展」に出展しました。弊社主力商品である

「なんでも継手」・「水膨張不織布」をご多くの方にご覧頂きました。

無電柱化をテーマとした各セミナーや関連製品の展示などがあり、様々な情報交換が行われました。

自民党無電柱化委員長の小池百合子元環境大臣も本展示会に初日からご来場されました。「環境省時代にはクールビズで世の男性の首もとからネクタイを引っこ抜き、今度は無電柱化で日本中の電柱を引っこ抜き!」との意気込みで期待度も高まっています。



首都圏を中心に全国各地で進められている無電柱化ですが、現状はまだまだのようです。市街地の幹線道路における無電柱化比率は、ロンドンやパリは100%、ベルリン99%、ニューヨーク72%に対し日本では10%程と世界の主要都市に比べて低い水準となっています。

なぜ無電柱化が必要か?無電柱化の目的は、景観保持のみではありません。被災時の電柱倒壊の心配もないので、電力線・通信線が遮断されることもなく、緊急車両の進入妨げもありません。

しかし日本国内では1Kmの距離を電線埋設する工事が3~3.5億円と非常に高いコストが掛かることが問題となっており、規制緩和、新たな工法・資材の開発・提案・導入等が求められています。

そこで弊社の「なんでも継手」と「水膨張不織布」が施工性の向上、工期短縮に威力を発揮します。

今後長期間にわたって行われる可能性が高い無電柱化に弊社も貢献できるように頑張っていく所存です。



これからもユーザー様からの様々な問題・ご要望にお答えできるような的確に市場ニーズを捉え、ご提案できるよう日々努力してまいります。

お気軽にご意見・ご要望賜りますよう宜しくお願い致します。